



平成27年12月21日
独立行政法人国立科学博物館

特別展「恐竜博2016」の注目展示が決定！

国立科学博物館（館長 林 良博）では、特別展「恐竜博2016」（平成28年3月8日（火）から平成28年6月12日（日）まで）の注目展示を決定しました。

つきましては、広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。
詳しくは、別添資料をご覧ください。

特別展「恐竜博2016」

【会期】平成28年3月8日（火）～平成28年6月12日（日）

【会場】国立科学博物館 地球館特別展示室

【主催】国立科学博物館、朝日新聞社、テレビ朝日

<本件担当者>

独立行政法人 国立科学博物館

事業推進部 企画展示課長 吉野 英男

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-3822-0111/FAX:03-5814-9899

<取材に関するお問い合わせ先>

「恐竜博2016」広報事務局（共同PR内）

担当：吉川、永福、村田

〒104-8158 東京都中央区銀座 7-2-22 同和ビル 7F

TEL:03-3571-5258 FAX:03-3574-0316

E-mail: dino2016-pr@kyodo-pr.co.jp

2015年12月21日

恐竜研究の最前線を一挙紹介！

「恐竜博 2016」の注目展示が決定！

前売券は1月15日（金）から発売

2016年3月8日（火）～6月12日（日）／国立科学博物館

2016年3月8日（火）から6月12日（日）まで、上野の国立科学博物館にて開催される特別展「恐竜博 2016」のメインとなる展示内容が決定しましたので、本博のみどころと合わせてご紹介いたします。



「恐竜博 2016」メインビジュアル

上／Courtesy of The University of Chicago 下／Courtesy of The Royal Saskatchewan Museum

トピック①

史上最大の肉食恐竜スピノサウルス 新しい仮説にもとづく全身復元骨格を日本初公開！

白亜紀中頃の 아프리카大陸に生きた、ティラノサウルスを超越する史上最大の肉食恐竜スピノサウルス。今までの肉食恐竜では考えられなかった、四足歩行をして、しかも水中にまで行動範囲を広げていた可能性があります。「恐竜博 2016」では、最新研究にもとづいたスピノサウルスの新たな復元骨格を国内初公開。他の肉食恐竜とは大きく違う驚きの姿をご覧ください。

■スピノサウルスの実物化石も来日

イタリアのミラノ市立自然史博物館に所蔵されているスピノサウルスの吻部（口の先）の貴重な実物化石も本博のために特別に来日します。他の肉食恐竜とは大きく異なる特徴を持つ歯や細長い口などを間近に見ることができるまたとない機会です。



最新の研究をもとに復元されたスピノサウルスの全身復元骨格。Courtesy of The University of Chicago / photo by Mike Hettwer



(上) スピノサウルスの吻部（口の先）の実物化石。

所蔵・写真提供：ミラノ市立自然史博物館（イタリア）

(左) 近年の研究でスピノサウルスは水中で活動していた可能性が高まった。©Davide Bonadonna

トピック②

スピノサウルス×ティラノサウルス、二大肉食恐竜が夢の競演！

恐竜の中で高い人気を誇るティラノサウルスと、そのティラノサウルスを超越する史上最大の肉食恐竜スピノサウルス。それぞれ全長約 12m と全長約 15m という、二大肉食恐竜の全身骨格を対峙させる迫力の大型空間が「恐竜博 2016」に出現します。



スピノサウルス（左）と、ティラノサウルス（右）の全身復元骨格

左/Courtesy of The University of Chicago 右/Courtesy of The Royal Saskatchewan Museum

■ 展示されるティラノサウルスは、同種の中でも最大級の個体「スコッティ」

ティラノサウルス「スコッティ」は、1991年にカナダで発見されました。その後、長い化石クリーニング作業を経て、2013年に完成した、これまで発掘された同種の中でも最大級の大きさをもつ全身復元骨格を日本初公開します。

トピック③

奇跡の発見！赤ちゃん恐竜の化石が初来日！

世界でまだ1体ずつしか発見されていないパラサウロロフスとカスモサウルスの赤ちゃん化石の全身骨格が初来日！中でも、パラサウロロフスの子どもの発見は、恐竜研究の最大の謎のひとつである「鳴き声」の研究の可能性を大きく広げました。そのほか、恐竜の成長や恐竜同士のコミュニケーションなどの最新研究についても紹介します。



パラサウロロフス（左）とカスモサウルス（右）の赤ちゃんの実物化石

左ノ所蔵：レイモンド・M・アルフ古生物博物館（アメリカ） © Raymond M. Alf Museum of Paleontology

右ノ所蔵：アルバータ大学（カナダ） Photographed by John Ulan, © University of Alberta, Faculty of Science.

■ 恐竜の鳴き声を会場で再現

パラサウロロフスは大人と子どもで頭部の突起の大きさと形が違うことが、赤ちゃん化石の発見で明らかになりました。突起の内部は中空になっていて、そこに息を通して鳴き声を出していたと考えられています。形状の違いから大人と子どもで異なることが分かったパラサウロロフスの鳴き声を会場で再現します。

トピック④

スピノサウルスが現代に現れる！大迫力の新作ムービーを上映

CGで再現したスピノサウルスが現代の街に出現する展覧会限定ムービーを、特設の大型スクリーンで上映します。もし、普段見慣れた住宅街や水族館などに史上最大の肉食恐竜が現れたら…。今私たちが住んでいる生活風景を切り口にして、最新の恐竜研究のトピックを映像で体感できます。



その他にも、日本初公開の標本や恐竜研究の最前線の紹介、体験コーナーなどを展示予定！
最新情報は随時、公式サイトにて発表いたします。

【「恐竜博 2016」開催概要】

会 場： 国立科学博物館（東京・上野公園）
会 期： 2016年3月8日（火）～6月12日（日）
開館時間： 午前9時～午後5時
（金曜日は午後8時まで。4/30（土）～5/5（木）は午後6時まで）
※入館は閉館時刻の30分前まで
休 館 日： 毎週月曜日、3/22（火）
※3/21（月）、3/28（月）、4/4（月）、5/2（月）、6/6（月）は開館
主 催： 国立科学博物館、朝日新聞社、テレビ朝日
問い合わせ： ハローダイヤル 03-5777-8600
公式サイト： <http://www.dino2016.jp>
※今後の諸事情により、開館日、開館時間等について変更する場合がございますので公式サイトなどでご確認ください。

【巡回情報】

北九州会場： 2016年7月9日（土）～9月4日（日） 北九州市立いのちのたび博物館
大阪会場： 2016年9月17日（土）～2017年1月9日（月・祝） 大阪文化館・天保山
※会期は変更になる場合があります。

【「恐竜博 2016」チケット情報】

■通常券

- 前売券：1/15（金）～3/7（月）一般・大学生 1400円、小中高校生 500円
- 当日券：3/8（火）～6/12（日）一般・大学生 1600円、小中高校生 600円
- 金曜限定ペア得ナイト券：3/8（火）～6/12（日）2名一組 2000円

※すべて税込 ※未就学児無料 ※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名様は無料 ※常設展もご覧いただけます ※金曜限定ペア特ナイト券は、2名同時入場／男女問わず／金曜夜間（午後5時～午後8時、最終入場午後7時30分）入場可／会場での当日販売のみ
※その他、特別チケット情報や詳細情報は、後日公式サイトにて発表いたします。

【広報写真・データのご提供に関して】

本博を紹介目的として、広報画像などをご入用の方にはご提供させていただきます。下記、広報事務局までお問い合わせください。

【本博に関する記事・報道のお問い合わせ】

「恐竜博 2016」広報事務局（共同 PR 内） 担当：吉川・永福・村田
〒104-8158 東京都中央区銀座 7-2-22 同和ビル 7F
TEL:03-3571-5258 FAX:03-3574-0316 E-mail: dino2016-pr@kyodo-pr.co.jp

「恐竜博 2016」広報画像・取材申込書

- 広報画像のご使用は、本博をご紹介いただける場合に限らせていただきます。それ以外のご使用はご遠慮ください。
- **別紙「広報画像一覧」に記載したクレジットを必ずご掲載ください。**
- 下記以外の広報画像を希望される方は、広報事務局（TEL：03-3571-5326）までお問合せください。
- 読者プレゼント用招待券のご提供は、画像1点以上をご掲載の上、本博をご紹介いただける場合に限らせていただきます。
- 本博をご紹介いただけましたら、掲載紙・誌、同録 DVD 等を、広報事務局までご送付いただけますようお願い申し上げます。WEB サイトの場合は、ご掲載時に URL をお知らせください。
- 掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。

貴社名		
メディア名／部署名	／	
ご担当者		
ご住所	〒	
連絡先	TEL	FAX
E-mail (データ送付先)		
掲載予定日	月 日 (号)	
通信欄		

広報画像データ送付希望	月 日 時頃までに希望	
<input type="checkbox"/> ① スピノサウルスの全身復元骨格	<input type="checkbox"/> ② スピノサウルスの全身復元骨格 (正面)	<input type="checkbox"/> ③ スピノサウルスの吻部 (口の先) の実物化石
<input type="checkbox"/> ④ スピノサウルス復元画	<input type="checkbox"/> ⑤ 水中で活動するスピノサウルス (復元画)	<input type="checkbox"/> ⑥ ティラノサウルス「スコッティ」の全身復元骨格
<input type="checkbox"/> ⑦ カスモサウルスの赤ちゃん実物化石	<input type="checkbox"/> ⑧ パラサウロロフスの赤ちゃん実物化石	<input type="checkbox"/> ⑨ 親子で違うパラサウロロフスの頭部 (復元画)
<input type="checkbox"/> ⑩ クリンドロメウス復元画	<input type="checkbox"/> ⑪ 「恐竜博 2016」メインビジュアル	<input type="checkbox"/> ⑫ 「恐竜博 2016」ロゴ
その他の画像を希望 (具体的にご記入ください)		

読者プレゼント用招待券希望	<input type="checkbox"/> 希望する (5組 10名様)	
応募はがきの宛先	<input type="checkbox"/> 編集部	<input type="checkbox"/> 広報事務局※
当選者への発送	<input type="checkbox"/> 編集部	<input type="checkbox"/> 広報事務局

※応募はがきの宛先：〒116-0013 日本郵便荒川郵便局私書箱第 22 号「恐竜博 2016」●● (貴メディア名) 係

「恐竜博 2016」広報画像一覧

<p>① スピノサウルスの全身復元骨格</p> 	<p>② スピノサウルスの全身復元骨格 (正面)</p> 	<p>③ スピノサウルスの吻部（口の先）の 実物化石</p> 
<p>【クレジット】 Courtesy of The University of Chicago / photo by Mike Hettwer</p>	<p>【クレジット】 Courtesy of The University of Chicago</p>	<p>【クレジット】 所蔵・写真提供：ミラノ市立自然史博物館（イタ リア）</p>
<p>④ スピノサウルス復元画</p> 	<p>⑤ 水中で活動するスピノサウルス (復元画)</p> 	<p>⑥ ティラノサウルス「スコッティ」の全身 復元骨格</p> 
<p>【クレジット】 ©Davide Bonadonna</p>	<p>【クレジット】 ©Davide Bonadonna</p>	<p>【クレジット】 Courtesy of The Royal Saskatchewan Museum</p>
<p>⑦ カスモサウルスの赤ちゃん実物化石</p> 	<p>⑧ パラサウロロフスの赤ちゃん実物化石</p> 	<p>⑨ 親子で違うパラサウロロフスの頭部 (復元画)</p> 
<p>【クレジット】 所蔵：アルバータ大学（カナダ） Photographed by John Ulan, © University of Alberta, Faculty of Science.</p>	<p>【クレジット】 所蔵：レイモンド・M・アルフ古生物博物館（アメリ カ） © Raymond M. Alf Museum of Paleontology</p>	<p>【クレジット】 © Lukas Panzarin</p>
<p>⑩ クリンドロメウス復元画</p> 	<p>⑪ 「恐竜博 2016」メインビジュアル</p> 	<p>⑫ 「恐竜博 2016」ロゴ</p> 
<p>【クレジット】 illustrated by Andrey Atuchin</p>	<p>【クレジット】 上/Courtesy of The University of Chicago 下/Courtesy of The Royal Saskatchewan Museum</p>	